

SHOES FOR USE UNDER WATER AND ON LAND

Patent Number: JP7204005
Publication date: 1995-08-08
Inventor(s): YAMAZAKI AKIZO
Applicant(s): KEIHAN TSUSHO KK
Requested Patent: ☐ JP7204005
Application Number: JP19940005051 19940121
Priority Number(s):
IPC Classification: A43B5/08
EC Classification:
Equivalents: CN1105554

Abstract

PURPOSE: To prevent slipping of shoes during walking under water by providing a first draining hole at an upper part thereof and a second draining hole on the bottom part thereof to discharge water entering the shoes outside.

CONSTITUTION: In this shoes both for use under water and on land, a plurality of holes 3 are provided at the upper part 1 thereof and foot insertion holes 4 are provided to insert feet. A foot band 2 is linked to the upper part 1 of the shoes. On the other hand, a plurality of draining holes 6 and a plurality of protrusions 7 for preventing slippage are provided on the bottom part 5. The upper part 1 and the bottom part 5 are joined between the end faces thereof with a joint member 10 such as cloth. The plurality of draining holes 3 and 6 provided at the upper part 1 and on the bottom part 5 facilitate the draining of water in the shoes both for use under water and on land even when water enters the shoes in the sea. Thus, better feeling of adhesion is obtained between human feet and the shoes both for use under water and on land to prevent the slipping of the feet off the shoes even in the sea thereby eliminating a trouble such as injury by slippage of the feet off the shoes in the sea like the case of beach sandals.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-204005

(43) 公開日 平成7年(1995)8月8日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

A 4 3 B 5/08

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平6-5051

(22) 出願日 平成6年(1994)1月21日

(71) 出願人 594012645

京阪通商株式会社

大阪府大阪市北区南森町2丁目1-29 住
友銀行南森町ビル

(72) 発明者 山崎 彰三

大阪府大阪市北区南森町2丁目1-29 住
友銀行南森町ビル 京阪通商株式会社内

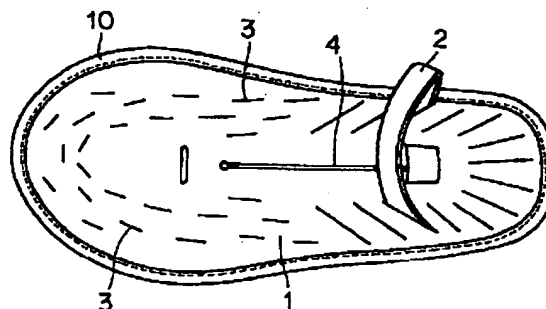
(74) 代理人 弁理士 深見 久郎 (外3名)

(54) 【発明の名称】 水陸両用靴

(57) 【要約】

【目的】 海中で歩行するときに脱げにくいとともに容易に装着したまま泳ぐことが可能な水陸両用靴を提供する。

【構成】 上部1に水抜き穴3を設けるとともに足バンド2を連結し、さらに底部にも水抜き穴を設ける。



1: 上部

2: 足バンド

3: 水抜き穴

4: 足挿入穴

10: 接合部材

BEST AVAILABLE COPY

1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 伸縮自在な材料よりなり、第1の水抜き穴を有する上部と、
第2の水抜き穴を有する底部と、
前記上部に連結された足バンドとを備えた、水陸両用靴。

【請求項2】 前記底部表面には複数のすべり止め用突出部が設けられている、請求項1に記載の水陸両用靴。

【請求項3】 前記底部は弾性を有する材料によって形成されている、請求項1に記載の水陸両用靴。

【請求項4】 前記上部は人間の足が挿入されないときには平坦な形状を有している、請求項1に記載の水陸両用靴。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 この発明は、水陸両用靴に関し、特に、そのまま海に入って泳ぐことが可能な水陸両用靴に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、海水浴などに行った際に、海辺ではビーチサンダルを履くのが通常であった。図6は、従来のビーチサンダルを示した斜視図である。図6を参照して、従来のビーチサンダルでは、本体部100に鼻緒200が取付けられている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 上記した従来のビーチサンダルでは、それを履いたまま海中に入ると、海中で脱げやすくその場合たとえば珊瑚礁で怪我をしやすいという問題点があった。また、海中で脱げやすいので思うように歩けないという問題点もあった。さらに、ビーチサンダルを履いたまま泳ぐということは困難であった。また、本体部100の裏面は通常平坦に形成されているため、岩場などでは滑りやすく、その結果怪我をしやすいという問題点があった。

【0004】 請求項1～4に記載の発明は、上記のような課題を解決するためになされたもので、請求項1～4に記載の発明の1つの目的は、海中においても装着したまま泳ぐことが可能な水陸両用靴を提供することを目的とする。

【0005】 請求項1～4に記載の発明のもう1つの目的は、海中において装着して歩行するときに脱げにくい水陸両用靴を提供することを目的とする。

【0006】 請求項1～4に記載の発明のさらにもう1つの目的は、重ばらず携帯に便利な水陸両用靴を提供することを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】 請求項1～4における水陸両用靴は、伸縮自在な材料よりなり、第1の水抜き穴を有する上部と、第2の水抜き穴を有する底部と、上部に連結された足バンドとを備えている。また好ましくは

2

底部表面には複数のすべり止め用突出部が設けられている。さらに好ましくは上記した底部は弾性を有する材料によって形成されている。また好ましくは、上記した上部は人間の足が挿入されないときには平坦な形状を有している。

【0008】

【作用】 請求項1～4に係る水陸両用靴では、上部が伸縮自在な材料よりなり第1の水抜き穴を有するように形成され、底部が第2の水抜き穴を有するように形成されているので、海中に入ったときにその水陸両用靴内に水が溜まることなく、人間の足と水陸両用靴とが密着した状態になる。これにより、従来のビーチサンダルと異なり海中においても水陸両用靴が脱げにくくなる。さらに、足バンドが上部に連結されているのでその足バンドによって足を固定すればさらに脱げにくくなる。また、上記した底部表面に複数のすべり止め用突出部を設けるように構成すれば、岩場などにおいても滑りにくくなる。また、上記した底部を弾性を有する材料によって形成すれば、水かきの役割を兼ねることができ装着したまま十分泳ぐことも可能となる。さらに、上記した上部を人間の足が挿入されないときには平坦な形状を有するように形成すれば、重ばらず携帯に便利となる。

【0009】

【実施例】 以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0010】 図1は本発明の一実施例による水陸両用靴を示した上面図であり、図2はその底面図である。図3は図1および図2に示した水陸両用靴の斜視図であり、図4は側断面図である。図5は図1～図4に示した一実施例の水陸両用靴を実際に足に装着した場合の斜視図である。

【0011】 図1～図5を参照して、本実施例の水陸両用靴では、上部1に複数の水抜き穴3が設けられている。また上部1に足50を挿入するための足挿入穴4が設けられている。さらに、上部1には足バンド2が連結されている。

【0012】 一方、底部5には複数の水抜き穴6と複数のすべり止め用突起7とが設けられている。上部1と底部5とはたとえば布などの接合部材10によってその端面が接合されている。具体的には、布などの接合部材10によって上部1および底部5の端面を覆うとともにその覆った部分に沿って糸で縫う。これにより、上部1と底部5の端面を接合することができる。

【0013】 図5を参照して、本実施例の水陸両用靴では、実際に足50が挿入された場合には上部1の水抜き穴3が大きくなる。これにより、この水陸両用靴を装着して海中に入った場合に水抜きが容易となる。

【0014】 本実施例では、上記のように、上部1および底部5に複数の水抜き穴3および6を設けることによって、海中に入った場合に水陸両用靴内に入った水が抜

3

けやすくなり人間の足50と水陸両用靴との密着感が得られる。これにより、海中においても水陸両用靴が脱げにくくなり従来のビーチサンダルのように海中で脱げて怪我をするという不都合も生じない。さらに、上部1には足バンド2が連結されているので、その足バンド2によって足50を固定することによってさらに脱げにくくなる。また、上記した水抜き穴3および6によって足50と水陸両用靴との密着感が得られるので、水陸両用靴が水かきの役割をも兼ねることができ、装着したまま十分泳ぐことが可能となる。

【0015】さらに、図2に示すように底部5に複数のすべり止め用突起7を設けることによって、たとえば岩場などにおいても滑りにくくなり、その結果従来のビーチサンダルのように岩場で滑って怪我をするという不都合も生じない。さらに、図1および図3に示すように足が挿入されない状態では上部1は平坦な形状を有しているので、重ばらず携帯に便利という効果も奏する。なお、上部1はたとえばウェットスーツに用いる材料のような伸縮自在な材料によって形成されている。このようにウェットスーツの材料によって上部1を形成すれば、水に対する強度（耐水性）が著しく向上するという効果を得ることができる。なお、底部5はゴムなどの弾性材料によって形成されている。

【0016】

【発明の効果】請求項1～4に記載の水陸両用靴によれば、上部に第1の水抜き穴を設け、底部に第2の水抜き穴を設けることによって、水陸両用靴内に入った水は外部に排出されるので、人間の足と水陸両用靴の内面との密着感が得られる。これにより、海中で歩行するときに脱げにくいという効果がある。この効果は、上部に連結

された足バンドによって人間の足を固定することによりさらに向上する。その結果、海中で歩行するときに脱げにくいとともに、装着したまま容易に泳ぐことが可能となる。

【0017】また、底部表面に複数のすべり止め用突起部を設けるように構成すれば、たとえば岩場などにおいて滑りにくくなり、従来のビーチサンダルのように岩場で滑って怪我をするという不都合も生じない。また、上記した上部を人間の足が挿入されないときには平坦な形状を有するように構成すれば、重ばらず携帯に便利となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例による水陸両用靴を示した上面図である。

【図2】図1に示した水陸両用靴の底面図である。

【図3】図1および図2に示した水陸両用靴の斜視図である。

【図4】図1および図2に示した水陸両用靴の側断面図である。

【図5】図1～図4に示した本発明の水陸両用靴を実際に足に装着した場合の状態を示した斜視図である。

【図6】従来のビーチサンダルを示した斜視図である。

【符号の説明】

1：上部

2：足バンド

3：水抜き穴

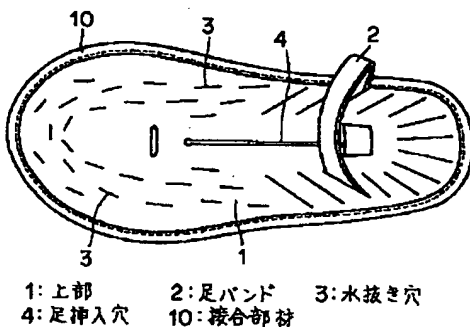
5：底部

6：水抜き穴

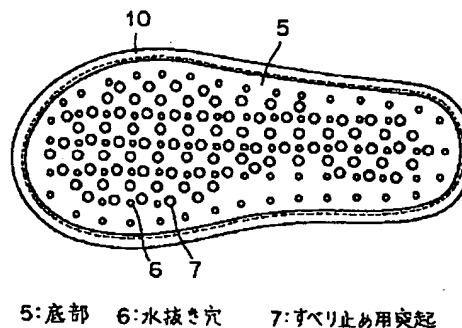
7：すべり止め用突起

なお、各図中、同一符号は同一または相当部分を示す。

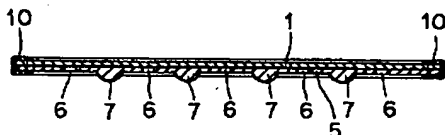
【図1】



【図2】



【図4】



BEST AVAILABLE COPY